

業務概要

目的

日野市では2009年4月に「ユニバーサルデザイン推進条例」を施行した。その中で、多様な人々の意見をできるだけ多く取り入れ、相互交流し、継続的、横断的に取り組んでいくこととしている。また、「日野市交通バリアフリー基本構想」も策定されており、駅を中心に整備が進められている。そこで、市庁舎や市の道路、学校など、市の施設のユニバーサルデザイン化の状況を把握し、同条例に基づいて今後の施設の改善や各種事業の資料となる「UDまちづくり白書」を作成した。

概要

白書を作成するにあたり以下の調査、市民ヒアリング等を行った。

- ・市のユニバーサルデザイン整備の現状調査（209施設）
- ・市民ヒアリング（7団体34名）
- ・日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進条例に基づく届出状況調査



ユニバーサルデザインまちづくり白書の概要

- ① 日野市の人口構成（65歳以上および、小学校低学年までの子ども、障害のある人、外国人を合わせると約33.3%）
- ② すべての人とは（移動が困難な人・疲れやすい人・スペースが必要な人・コミュニケーションに配慮が必要な人等）
- ③ 市の施設のユニバーサルデザイン整備の現状
- ④ 市道における歩道整備の現状（歩道整備は幹線市道を中心に進んでいる）
- ⑤ 日野市交通バリアフリー基本構想重点整備地区の進捗状況
- ⑥ 市民から見たユニバーサルデザインのまちづくりへの期待
- ⑦ 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進条例に基づく届出状況



付帯業務

ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会の運営支援

第5回協議会の前半では、委員と共に豊田駅周辺地区特定事業の現地確認を行った。

